



竹林

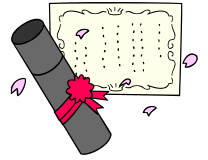
白河市立五箇中学校だより No. 4 5

発行 令和4年3月4日
発行責任者 校長 菅野 靖



弥生（3月）は試練（県立高校前期選抜終了）と別れと旅立ち（卒業）の季節

3月になり、今年度の最終月となりました。3年生は、県立高校の前期選抜試験も終了し、11日の卒業式と14日の合格発表を待つのみとなりました。3年生は、あと1ヶ月で新たなステージで新たな生活が始まりますので、『立つ鳥跡を濁さず』です。やるべきことをやり、思いや汚点を残すことなく五箇中学校から飛び立ち、4月からの新生活の準備をしっかりと整えてください。1、2年生はそれぞれが進級し、中堅学年と最上級生になりますので、先輩が示してくれた姿を目指し、ステップアップした自分を作り上げられるよう準備をしてください。1年間の節目で、お世話になった方との別れと新たな人との出会いがあるこの3月です。真心を感じ、感謝の気持ちを伝え、新たな気持ちでさわやかにスタートが切れる準備をして欲しいと思います。



卒業式全体練習

卒業生18人、在校生22人でつくり上げる感動的な卒業式を目指して

2月18日に卒業式全体練習が始まり、礼法指導や式の中での動きの確認を行いました。主役である3年生はもちろんのこと、脇役である1、2年生も真剣に参加していました。また、25日は音楽科の藤田先生の指導の下、卒業式の式歌の全体練習を行いました。「仰げば尊し」「蛍の光」「旅立ちの日に」などを練習しましたが、卒業生も在校生も心を込めた歌声を響かせていました。卒業式の当日もマスク着用での歌唱となりますが、卒業生18人、在校生22人で感動的な卒業式にしてほしいと思います。



【全校生での礼法指導】

保護者の皆さまも、自宅体温を測定（受付での記録）の上、マスク着用での式への参加となります。また、式にご臨席いただく方は教育委員会の方と保護者の方、参加者は在校生と教職員のみとなります。昨年度に引き続き、来賓の方々をお招きせず、縮小しての卒業式となりますが、ご理解のほどよろしくお願ひします。

中山義秀記念作文コンクール

齋藤海咲さんと鈴木那奈さんが【優秀賞】を受賞

白河市出身の作家である中山義秀氏の功績を称えて行われる「中山義秀記念作文コンクール」も、今年で11回目となりました。市内の小中学校から多くの作品（小学生の部：2833点、中学生の部：1388点）の応募があり、五箇中では、3年の齋藤海咲さんの「天才は天才ではない」と鈴木那奈さんの「オートリバース」が名誉ある【優秀賞】を受賞しました。おめでとうございます。また、作品の応募の割合と入賞者の評価などから五箇中学校が『優秀学校賞』を受賞しました。今年は、コロナの影響で、コミネスで予定していた表彰式が実施できませんでしたので、受賞者には学校で賞状とトロフィーを授与しました。



【校長室でのオンライン表彰】

美術の授業で作成した3年生の作品展示

3年間の学びの成果が表れた美しい作品が勢ぞろい

3年生が美術の時間に、中学校での最後の作品になる「篆刻（てんこく）」「篆刻のケース」を作成しました。篆刻とは自分で作成した書画作品に自分の名前を押印するためのハンコになります。材料に角柱の高麗石を使用し、印面に自分の名前をデザインしてオリジナルの印影のハンコにします。持ち手の部分をデザインし彫刻して、耐水ペーパーでピカピカに磨いて出来上がりです。素晴らしい印影のハンコができましたので、今年は、オリジナルの絵葉書も作成し、作品の中に篆刻印を添えてみました。3年間の美術の授業で培った美に対する感性が表れた、引き締まった趣がある作品になりました。



【篆刻と篆刻ケースの展示】



【オリジナルの絵葉書の掲示】